

経営戦略に関する説明会

2008年10月8日

代表取締役社長 兼 CEO 庄田 隆



第一三共株式会社

本日の内容

- ミッション・ビジョン
- Global
 - グローバル・リーチ
- Pharma
 - 領域・製品戦略
- Innovation
 - 今後の挑戦



第一三共株式会社

● ミッション・ビジョン

革新的医薬品を継続的に創出し、提供することで、
世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

“ グローバル創薬型企业 ” Global Pharma Innovator の実現

事業エリア拡大への挑戦

アンメットメディカル
ニーズへの挑戦

新たなビジネスモデル
構築への挑戦

Global

Pharma

Innovator

世界の主要地域に
自らが拠点を構えて、
自ら事業を
展開する企業

経営資源を
医薬品事業に集中し、
革新的医薬品を継続的
に創出・提供する企業

サイエンス・技術に
おけるイノベーションと
ビジネスモデルの
イノベーションを
実現する企業

3

 第一三共株式会社

本日の内容

- ミッション・ビジョン

- **Global**

- グローバル・リーチ

- Pharma

- 領域・製品戦略

- Innovation

- 今後の挑戦

● 第一三共のグローバル展開

■ 先進国市場での成長を基盤に新興国市場の勢いを取り込む

先進国市場

高齢化の進展

経済成長の鈍化

- 医薬品市場の成長鈍化
- 医療ニーズの高度化・多様化
- 医療経済性の重視

新興国市場

人口の増加

高い経済成長

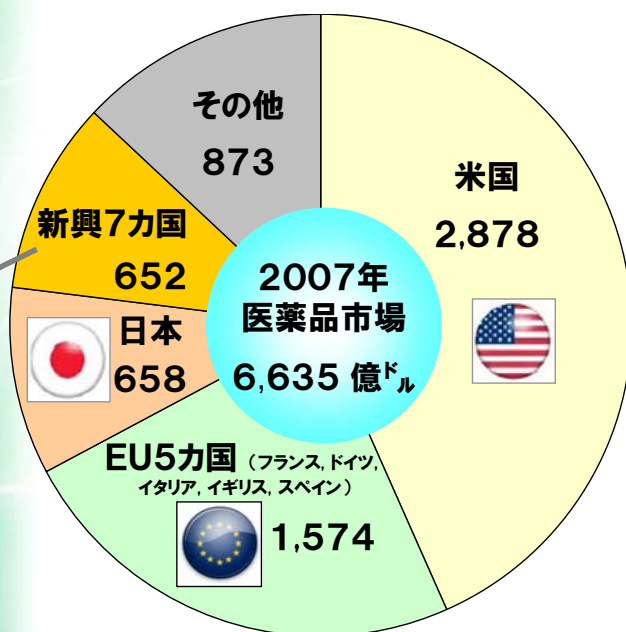
- 医薬品市場の拡大
- より良い医療を求める動き
- 知的財産の環境整備



5

 第一三共株式会社

● 世界の医薬品市場と第一三共のシェア



第一三共の市場シェア

米 国	0.6 %
EU5カ国	0.2 %
日 本	5.5 %
新興7カ国	0.1 %
Global	0.9 %

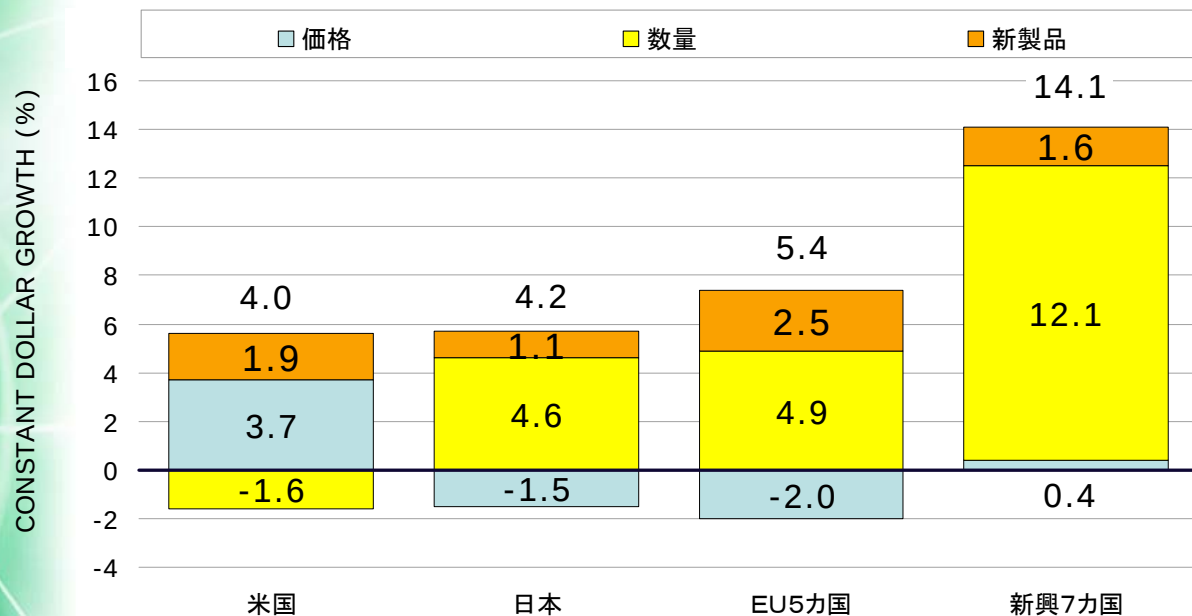
6

Source: IMS Health, MIDAS Quantum, December 2007

 第一三共株式会社

● 医薬品市場の成長要因(2007年)

* 新製品 = 新薬 & 新規後発品

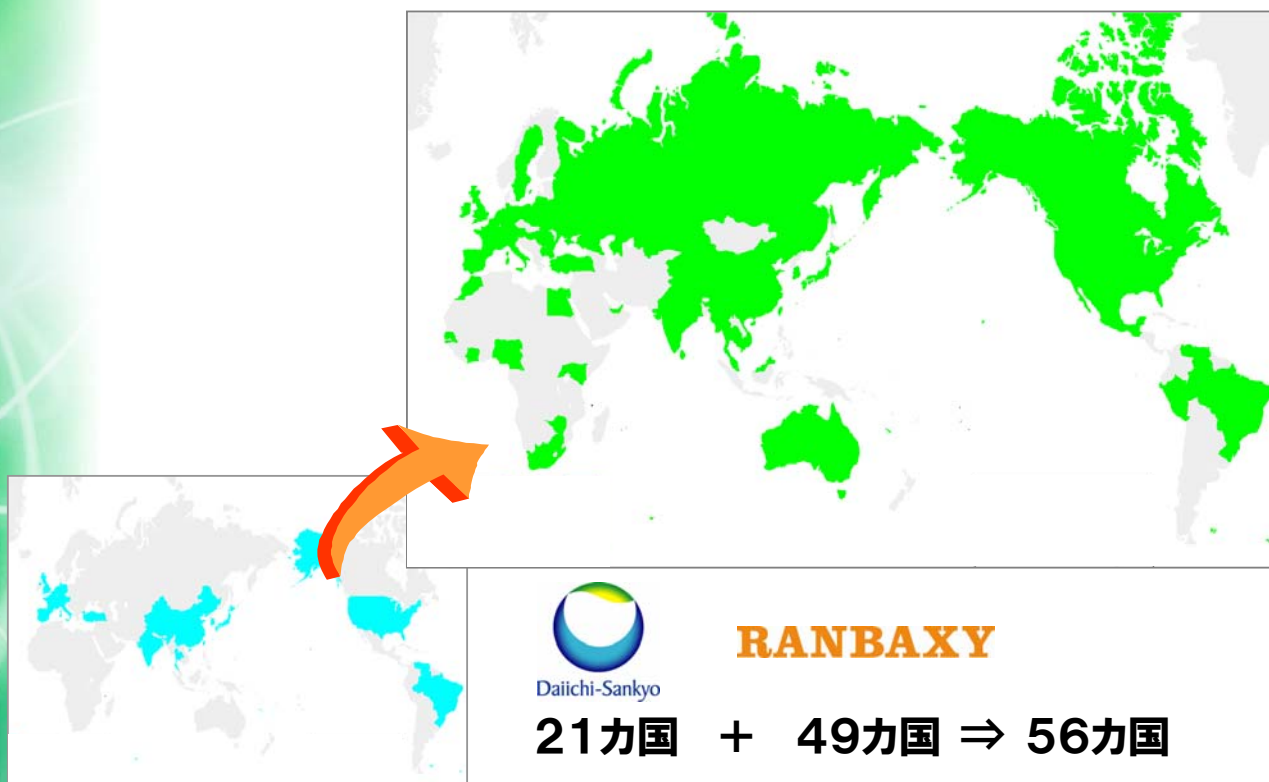


Source: IMS Health, MIDAS, Dec 2007

7

第一三共株式会社

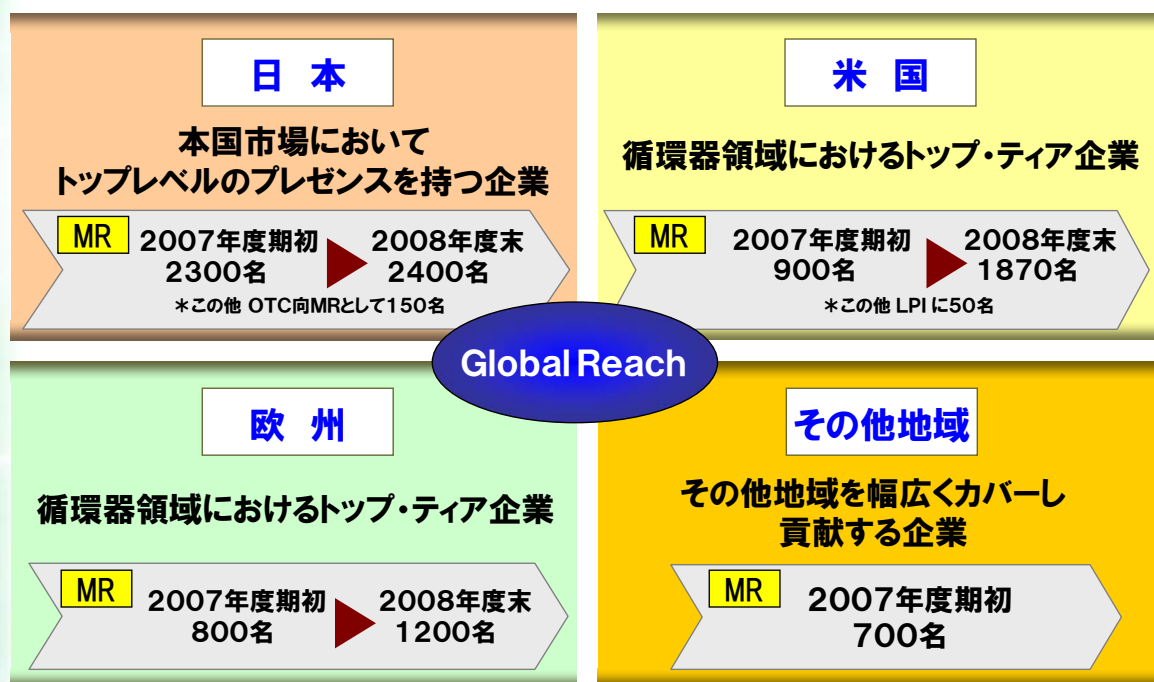
● Global Reach



8

第一三共株式会社

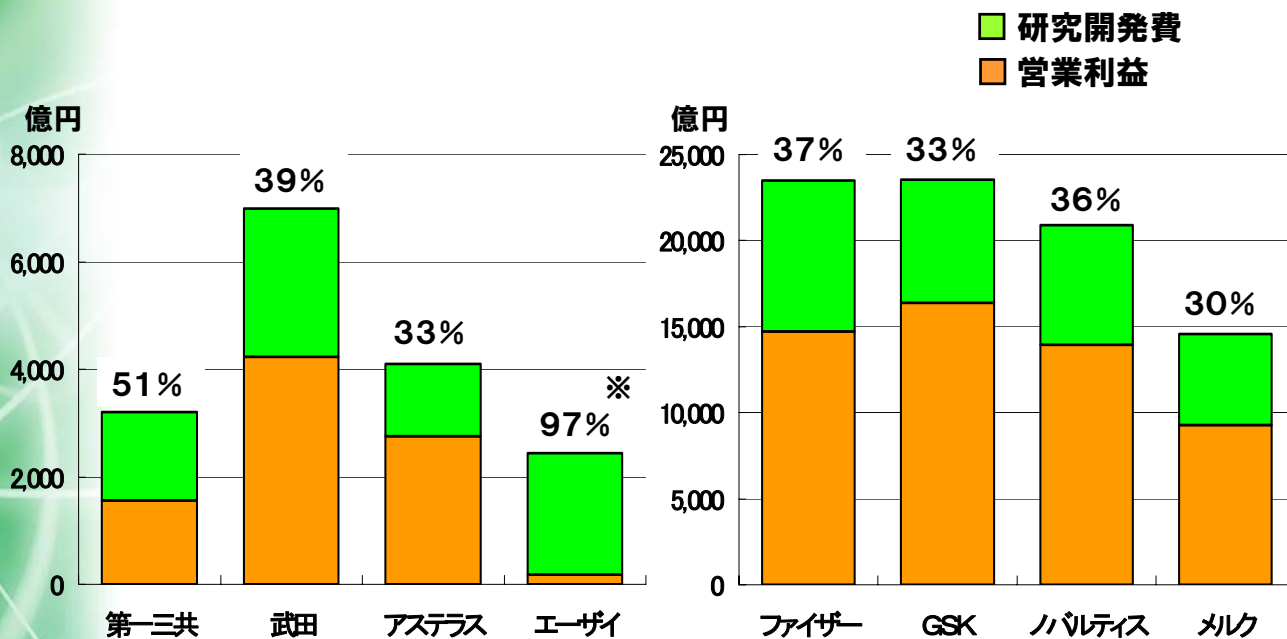
● 4極営業基盤の拡充と生産性の向上



本日の内容

- ミッション・ビジョン
- Global
 - グローバル・リーチ
- Pharma
 - 領域・製品戦略
- Innovation
 - 今後の挑戦

● 営業利益を上回る研究開発投資



※買収したMGI社関連費用(インプロセスR&D費840億円)などを含む、本来55%。

%表示は研究開発費/(営業利益+研究開発費)

出典: 各社決算資料 国内企業2007年度、外国企業2007年

● 疾患領域の考え方

R&Dの重点疾患領域

今後の成長エンジンとしてR&D投資を優先投入する領域

血栓症

癌

糖尿病

自己免疫疾患/関節リウマチ

フランチャイズ領域

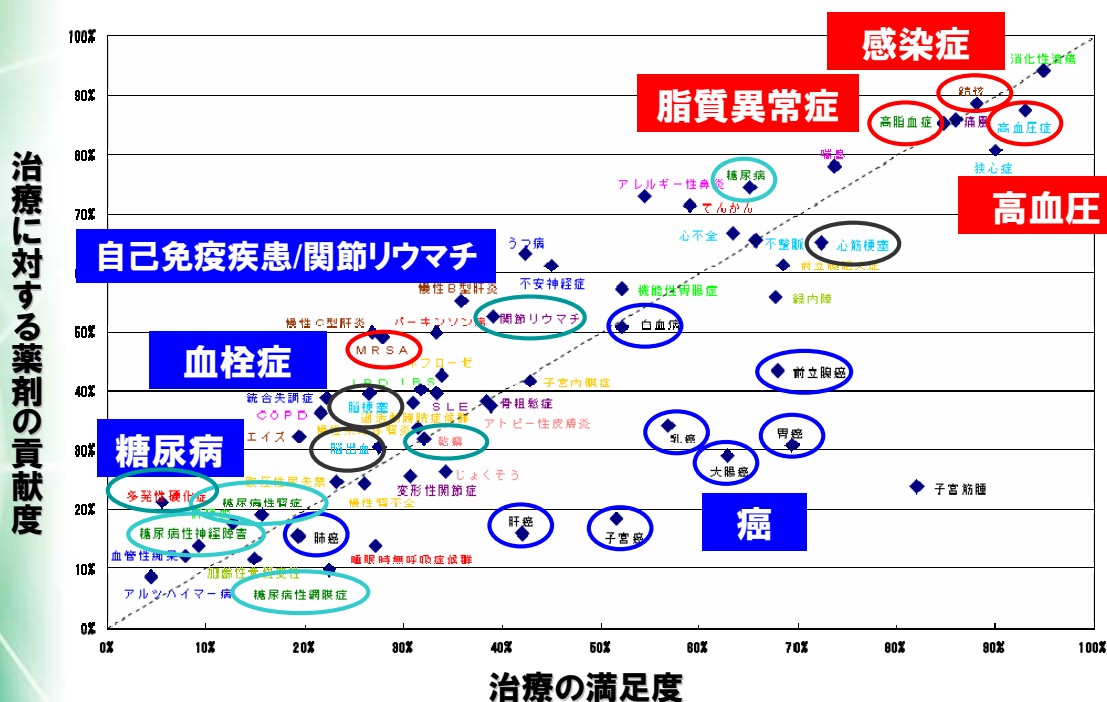
現在の収益基盤であり、今後も拡大・維持していく領域

高血圧

脂質異常症

感染症

● 治療満足度と薬剤の貢献度

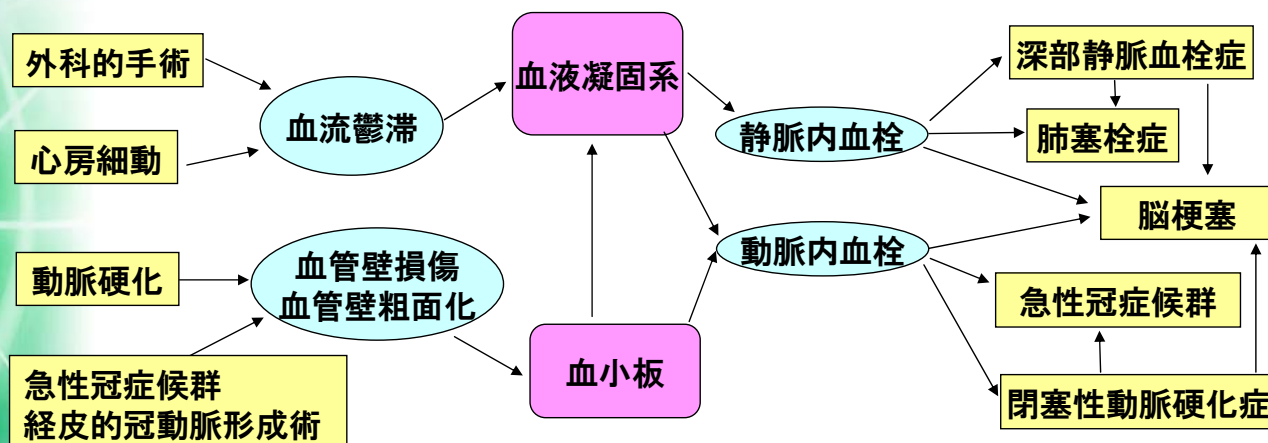


財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
平成17年度(2005)国内基盤技術調査報告書 - 2015年の医療ニーズの展望 -

● 血栓症のターゲット

血栓症

- さまざまな原因で血管中に血栓が形成され、心臓、肺、脳などに塞栓が出来ることにより致死的な病態に陥る
- 血液凝固系と血小板が2大ターゲット



● **抗血栓薬のリーディングカンパニーを目指して** **血栓症**

	動脈血栓	静脈血栓
主なターゲット	血小板	血液凝固系
現在用いられている主な薬剤	抗血小板薬	抗凝固薬
	アスピリン チクロピジン クロピドグレル	低分子ヘパリン ワーファリン
第一三共の パイプライン	プラスグレル	DU-176b
	・ 効果が強い ・ 効果発現が早い ・ 薬効に安定性	目標製品プロファイル ・ ワーファリンと同等の有効性 ・ 出血リスクが低く広い治療域 ・ 肝毒性がない

15

 第一三共株式会社

● **抗血小板剤：プラスグレル** **ベストインクラス** **血栓症**

ACS-PCI* (TRITON TIMI-38)

*急性冠症候群
経皮的冠動脈形成術

2007年12月 米国NDA申請
2008年2月 欧州MAA申請
2008年9月26日

➢ 米国食品医薬品庁 (FDA) が処方薬ユーザーフィー法
(PDUFA : Prescription Drug User Fee Act) に基づく審査終了日
に新薬承認申請審査が完了せず、審査継続

ACS-MM (TRILOGY ACS)**

**経皮的冠動脈形成術
を行わない急性冠症候群

2008年6月 Phase3開始

- 二重盲検、並行群間、実薬対照試験
- 血管再建術を予定していない不安定狭心症/非ST上昇心筋梗塞の薬剤治療患者における、心血管死、心臓発作、または脳卒中のリスク軽減に関して、プラスグレルの安全性と有効性をクロピドグレルとの比較において評価
- 約10,000人の患者、800施設、35カ国
- デューク大学 (マグナス オーマン 医学博士)

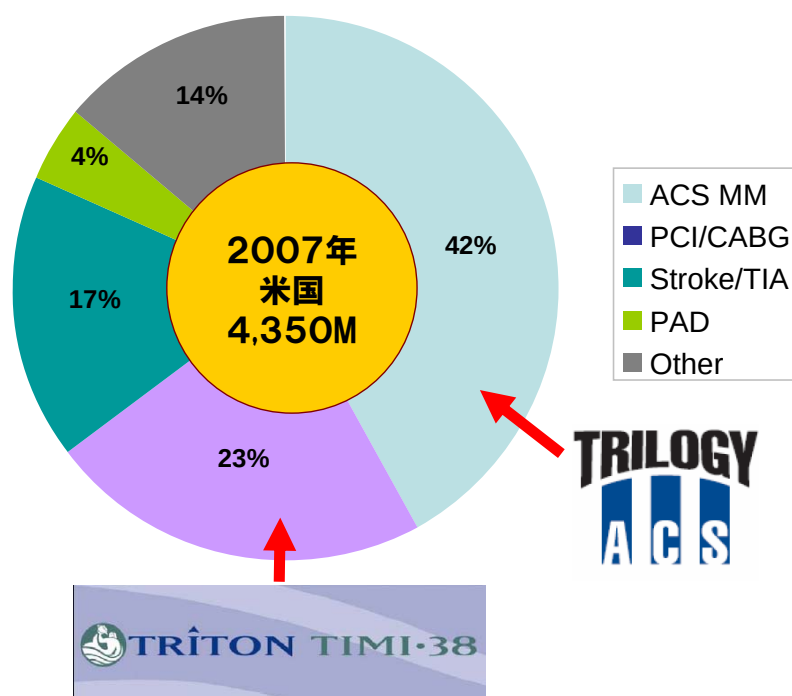
16

 第一三共株式会社

● 抗血小板剤：プラスグレル

血栓症

クロピドグレルの2007年適応症別米国売上げ（社内資料）



出典: IMS NPA Mar 2008 MAT Plavix Sales + NDTI (physician audit)

17

第一三共株式会社

● 経口抗Xa剤：DU-176b

ベストインクラス

血栓症

ベストインクラスを目指し、厳格な用量設定試験を完了

- 欧米: THR-VTE* Phase2b終了
欧州心臓病学会(9月)にて公表済
- 日本: TKR-VTE** Phase2b終了
アジア太平洋血栓止血学会(9月)にて公表済
- グローバル: VTE Phase3準備中
- 欧米: AF*** Phase2b終了
米国血液学会議(12月)にて公表予定
- 日本: AF*** Phase2b終了
- グローバル: AF*** Phase3を年内に開始予定

* 股関節全置換術後の静脈血栓塞栓症予防

** 膝関節全置換術後の静脈血栓塞栓症予防

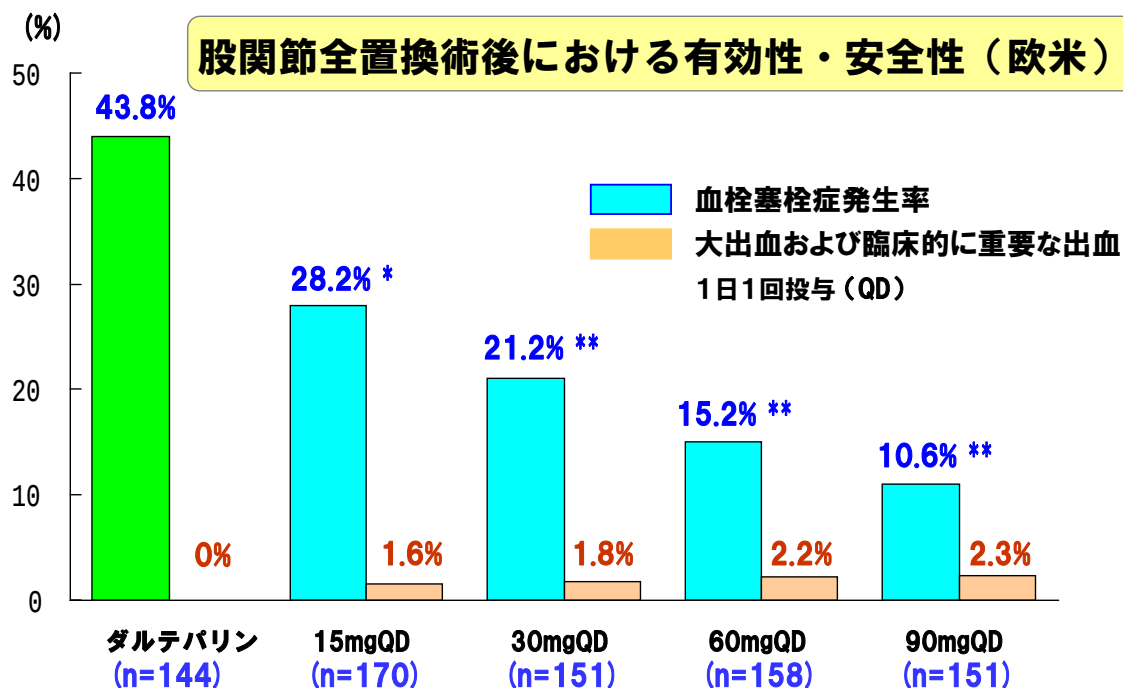
*** 心房細動

18

第一三共株式会社

● 経口抗Xa剤:DU-176b

血栓症



* p=0.005 (vs ダルテバリン) ** p<0.001 (vs ダルテバリン)
 血栓塞栓症抑制効果の用量依存性: p<0.001 (Cochran-Armitage)
 大出血および臨床的に重要な出血の用量依存的な増加はない

欧州心臓病学会
 (2008年9月2日, ミュンヘン)

第一三共株式会社

19

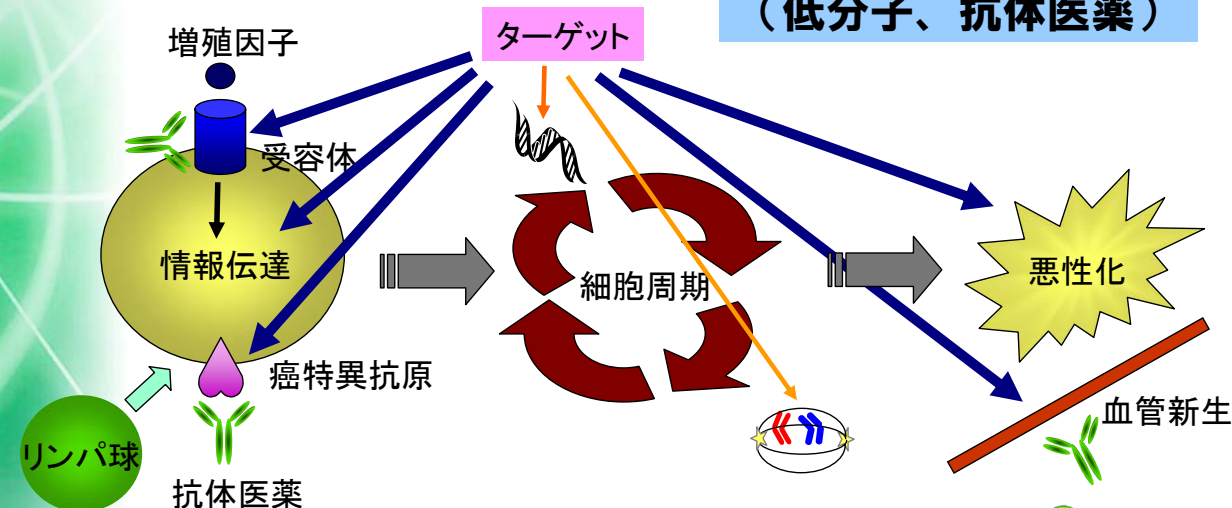
● 癌のターゲット

癌

細胞分裂機能を抑制する化学療法剤

癌細胞や癌組織の環境に特異的に認められる標的

分子標的薬
 (低分子、抗体医薬)

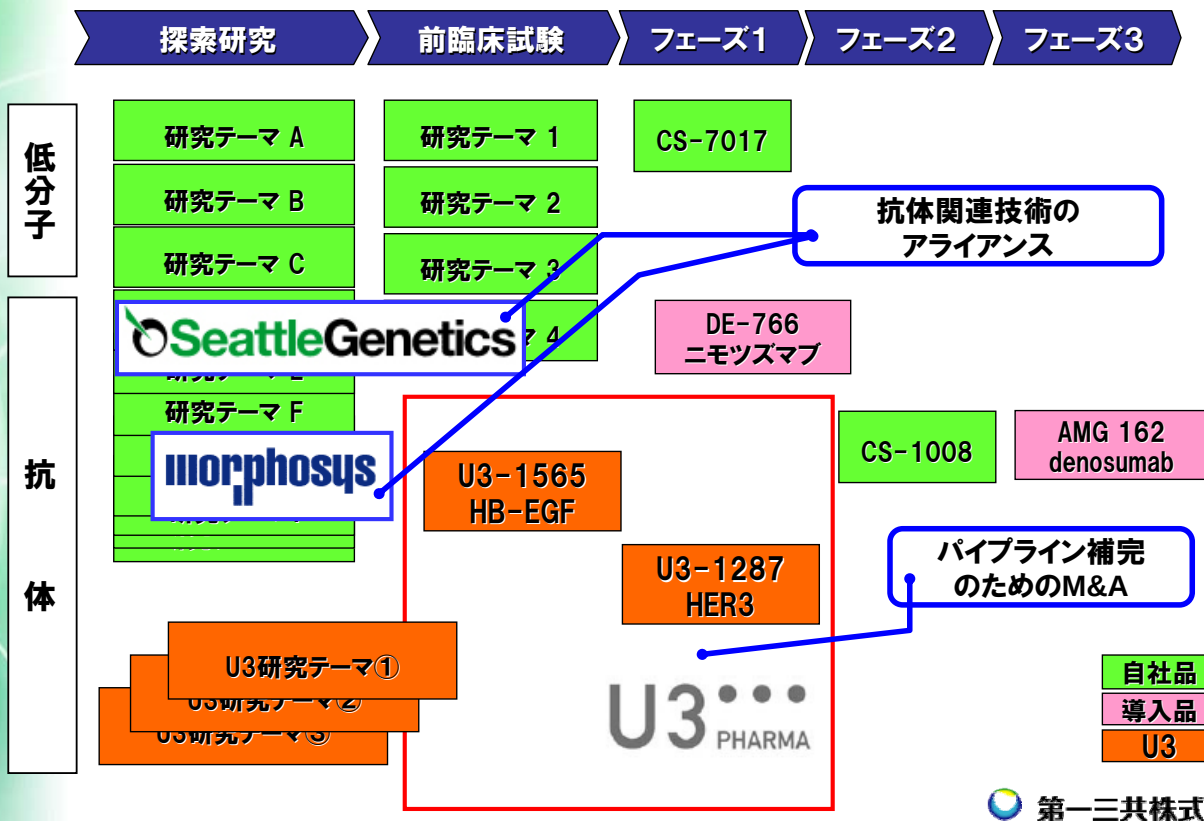


第一三共株式会社

20

● 癌領域のパイプライン

癌



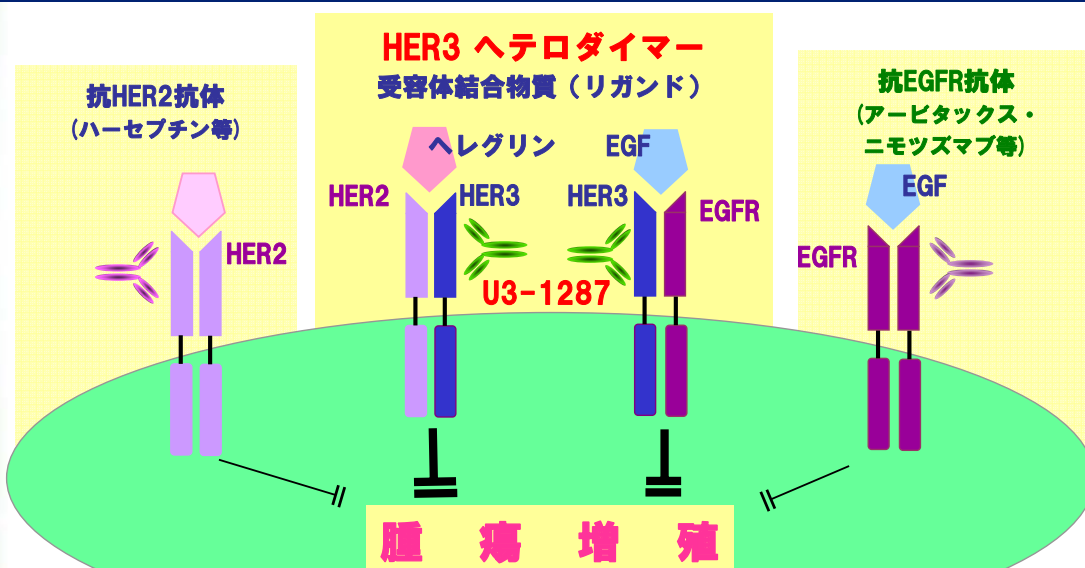
21

第一三共株式会社

● 抗体医薬:U3-1287 (抗HER3抗体)

ファーストインクラス

癌



HER3 : 第3のEGFRファミリー

- 多くの癌細胞で高発現
 - 乳癌、消化管腫瘍、肺癌、肝癌、前立腺癌、皮膚癌等
- HER3ヘテロダイマーは、HER2ホモダイマーやEGFRホモダイマーに比べて、相対的に細胞増殖惹起能が高い

22

第一三共株式会社

● 抗体医薬：AMG 162 (denosumab 抗RANKL抗体)

ファーストインクラス

癌

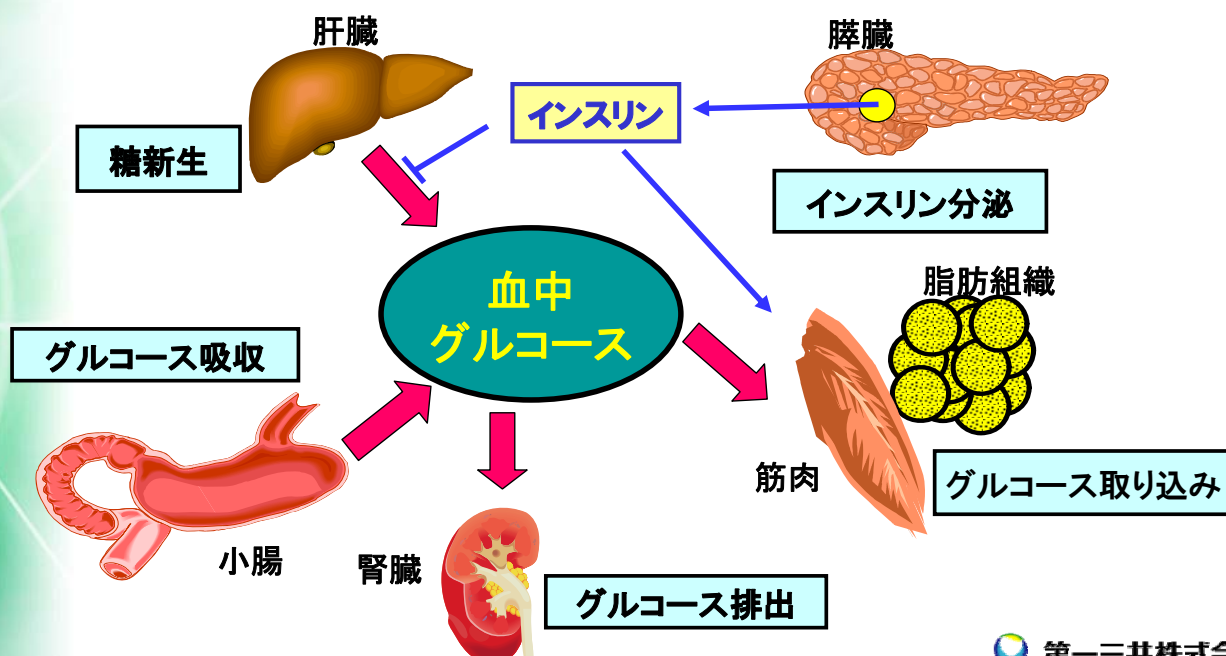
骨吸収の鍵となるメディエーターであるRANKリガンドを特異的にターゲットとする完全ヒト型モノクローナル抗体

- 癌の骨転移をターゲットしたグローバルPhase3試験を実施中
- 米国で、関節リウマチの骨破壊を対象とした Phase2試験を終了 (Amgen社)
- 閉経後骨粗鬆症に関して良好な成績
FREEDOM (Amgen社：米国骨代謝学会 9月)

● 糖尿病のターゲット

糖尿病

- 患者数が今後もグローバルに増え続けると予測されている
- 血中グルコースはさまざまな要因で制御されており、単剤による継続的な血糖制御は実現できていない



● 糖尿病のパイプライン

糖尿病

糖尿病は複数の病因による不均質な病態

臨床の現場でも複数の薬剤が併用されている

インスリン

PPAR- γ

DPP-IV阻害剤

GLP-1

メトフォルミン

SU剤

α グリコシダーゼ阻害剤

◆ ファスティング

速攻型食後血糖降下剤

◆ ウェルコール

2型糖尿病への効能追加 (米国)

さまざまな作用メカニズムの糖尿病薬が必要

◆ CS-011 (リボグリタゾン)

PPAR γ 作動 Phase3

◆ AJD101

新規作用メカニズム Phase2

◆ CS-1036

糖吸収阻害 Phase1

その他複数の作用メカニズムの、非臨床研究プロジェクト

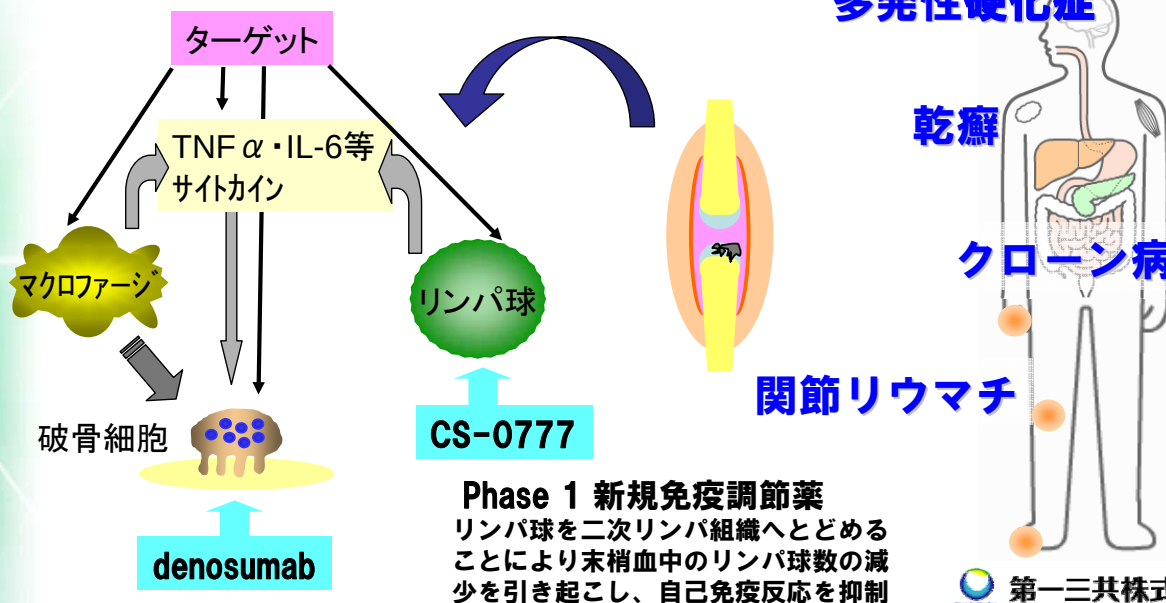
25

第一三共株式会社

● 自己免疫疾患・関節リウマチのターゲット

自己免疫疾患・関節リウマチ

- 自己免疫疾患は、治療法の無いあるいは満足されていない疾患が多い
- 関節リウマチおよび乾癬、多発性硬化症、クローン病等難病とされる自己免疫疾患患者数は近年増加している
- 関節リウマチの治療は長足の進歩を遂げつつあるが、まだまだ十分ではなく、治癒の可能性を高める薬が望まれている



26

第一三共株式会社

● フランチャイズ領域

現在の事業を支えている疾患領域
ライフサイクルマネジメントを中心に
維持・拡大を目指す

高血圧

脂質異常症

感染症

■ オルメサルタン

- カルシウム拮抗剤との合剤、利尿剤との合剤、3剤合剤
- 糖尿病性腎症などの効能追加

■ レボフロキサシン

- 高用量（500mg）、新剤形（注射剤）

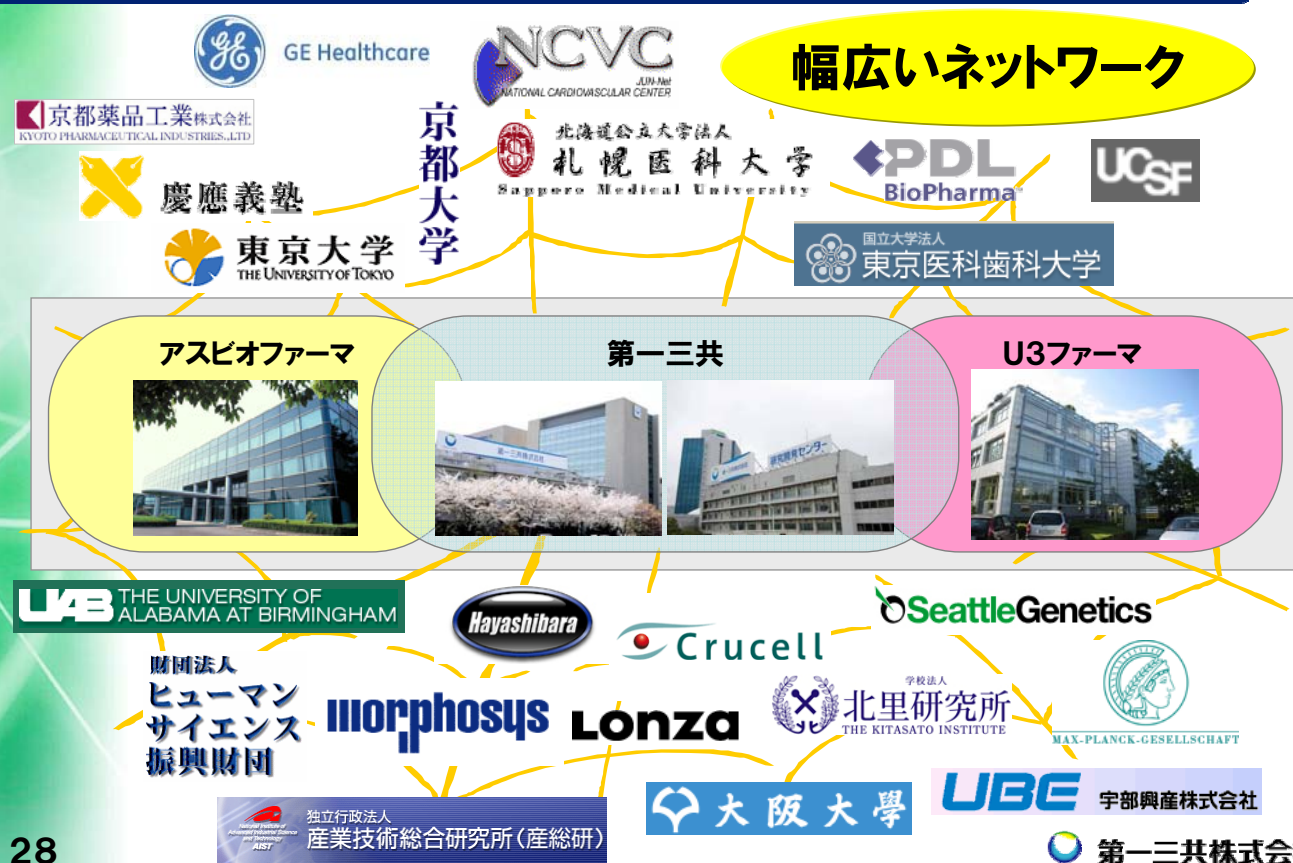
■ シタフロキサシン

- 重症感染症への適用

27

第一三共株式会社

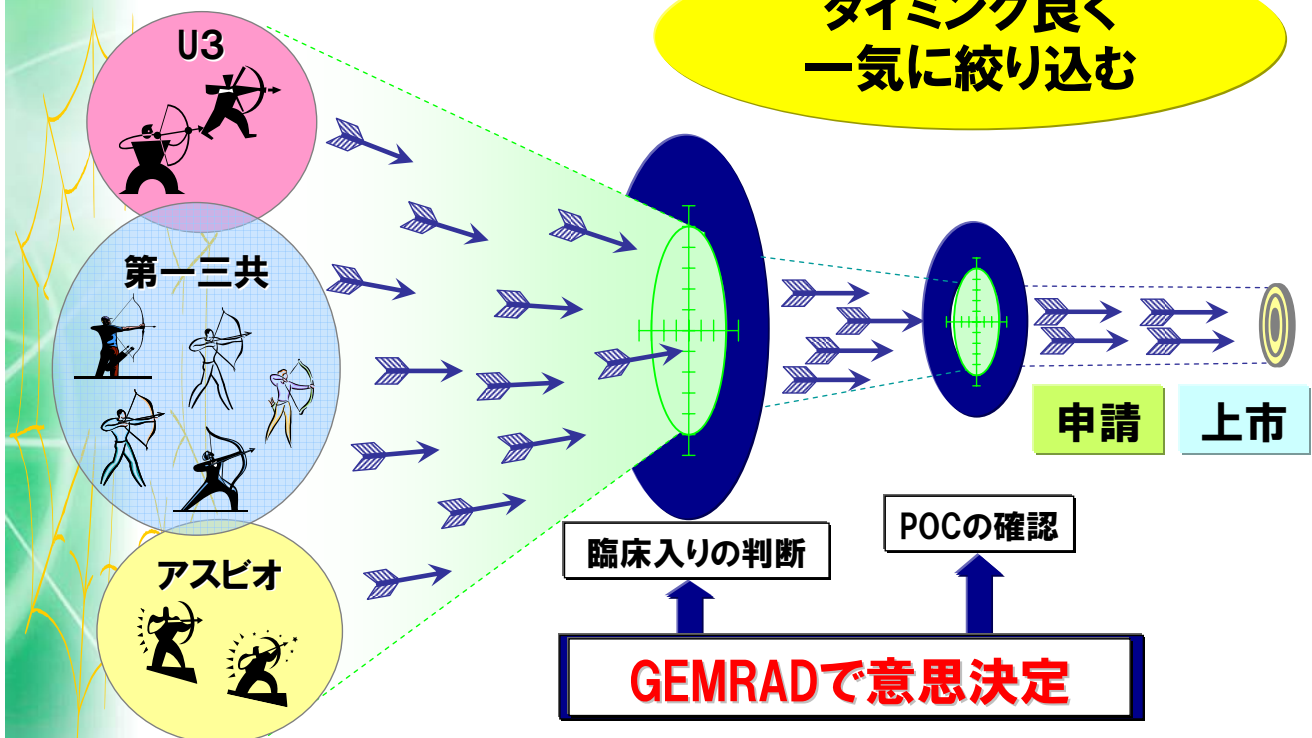
● 研究:幅広いサーチ



28

● 臨床開発：深いシミュレーション

幅広いサーチ(研究)



29

第一三共株式会社

● GEMRADによる意思決定

開発プロジェクトを、製品ポテンシャル、事業性、領域戦略適合性など、複数の観点から総合的に判断

- 優先度変更
 - CS-8635、denosumab、CS-011など
- 開発中止
 - DZ-697bなど
- 導出検討
 - DJ-927、DC-159a、CS-023など

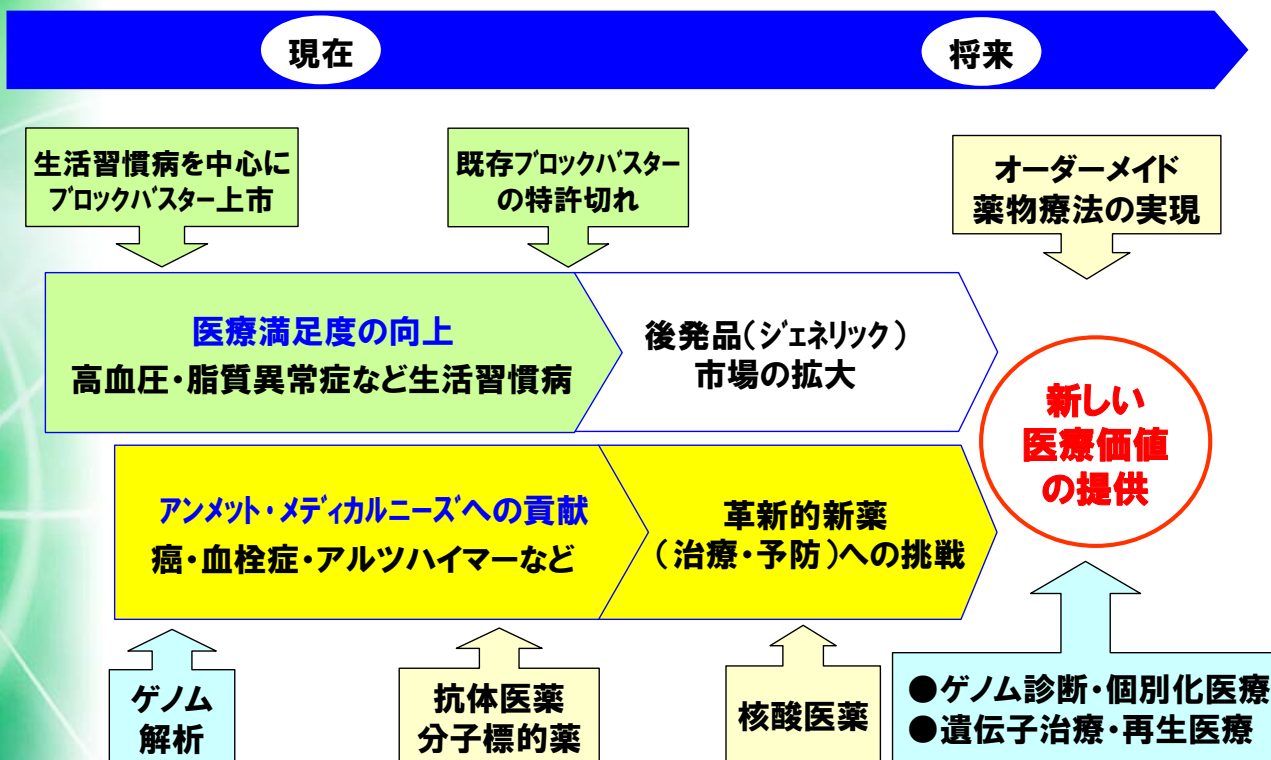
30

第一三共株式会社

本日の内容

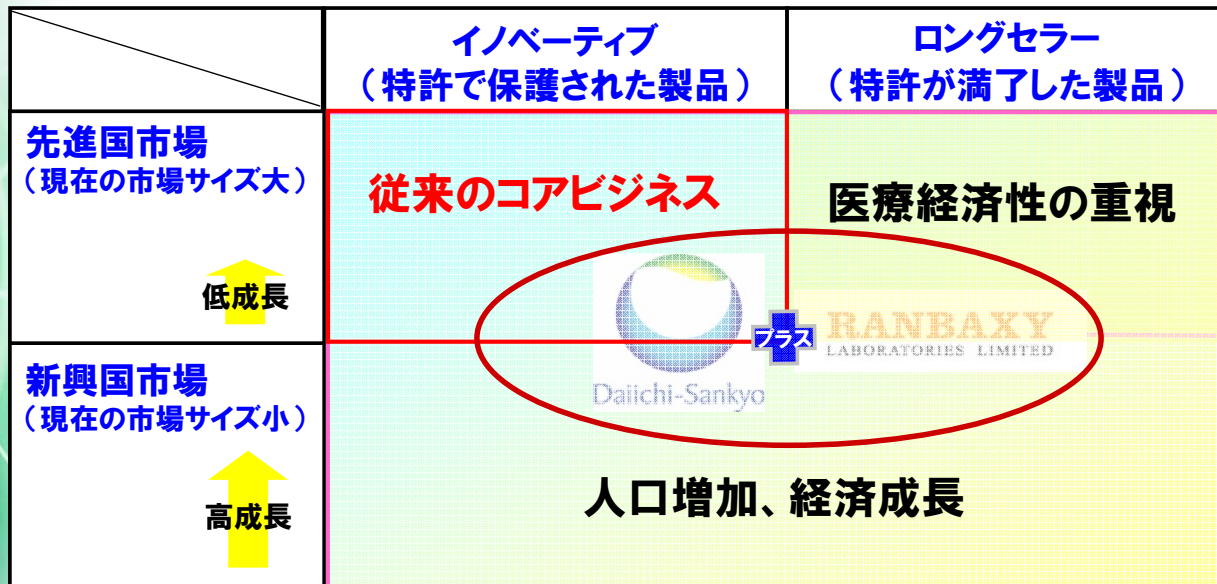
- ミッション・ビジョン
- Global
 - グローバル・リーチ
- Pharma
 - 領域・製品戦略
- Innovation
 - 今後の挑戦

● 医療技術と医薬品のトレンド



● 複眼経営によるハイブリッド・ビジネスモデル

- 先進国市場における従来型ビジネスに新たな視点を加えた複眼経営
 - 先進国市場 + 新興国市場
 - イノベティブ + ロングセラー
- あらゆる市場ニーズへの対応による永続的な成長



33

第一三共株式会社

● Global Pharma Innovatorを目指しての挑戦

革新的医薬品を継続的に創出・提供することで、
世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

複眼経営・ハイブリッドビジネスモデル

事業エリア拡大への挑戦

アンメットメディカル
ニーズへの挑戦

新たなビジネスモデル
構築への挑戦

Global

Pharma

Innovator

世界の主要地域に
自らが拠点を構えて、
自ら事業を
展開する企業

経営資源を
医薬品事業に集中し、
革新的医薬品を継続的
に創出・提供する企業

サイエンス・技術に
おけるイノベーションと
ビジネスモデルの
イノベーションを
実現する企業

34

第一三共株式会社

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126

FAX: 03-6225-1132

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。